

**「アフィリエイトから見た EC サイトに関する意識調査」  
提携したいと思う EC サイト、売れ行きの良い EC サイトと良くない EC サイトの違いは？ 他**

特定非営利活動法人 アフィリエイトマーケティング協会

特定非営利活動法人(NPO 法人)アフィリエイトマーケティング協会(東京都港区/理事長 柴田健一)は、このたび「アフィリエイトから見た EC サイトに関する意識調査」を実施し、本日付でその調査結果を発表した。

この調査は、2008年3月7日から4月4日までの間において、日経BP社・日経ネットマーケティングおよび株式会社マクロミル(調査システム協力)の協力の下、弊協会の個人会員に対して調査を行ったもので、提携したいと思う EC サイト、提携したくないと思う EC サイト、EC サイトと提携するきっかけ、売り上げを伸ばすために重視している情報源、提携 EC サイトが主催するキャンペーンで望ましいキャンペーン、特別報酬をもらっているアフィリエイトの割合等、計 26 項目についてインターネット上でアンケートを行った。

## ■ 調査結果サマリー

本調査の回答者の約 30%が月当たり 10 万円以上のアフィリエイト収入を得ており(2007 年実績)、積極的にアフィリエイトを行っているアフィリエイトの実態が浮き彫りになった。

提携したいと思う EC サイトとして、自分のサイトのコンテンツと相性の良い商品・サービスを扱っている EC サイト、報酬額の高い EC サイト、企業や商品・サービスの信頼性の高い EC サイトとの提携を希望するアフィリエイトが多く、逆に短期間で販売中止になるなど、アフィリエイトリンクのリンク切れが発生しやすい EC サイト、キャンセル率の高い EC サイト、商品・サービスについての情報が分かりにくい EC サイトを敬遠するアフィリエイトが多い。

EC サイトと提携するきっかけとして、ASP の Web サイトやメールマガジンを通じて提携するアフィリエイトが多い。女性は、サンプルを事前に配布されたことによって提携する割合が男性と比較して顕著に高い。

売れ行きの良い EC サイトと悪い EC サイトの違いでは、自分のサイトのコンテンツの相性、商品自体のブランド力の有無、自分自身の熱意や商品知識の有無が売れ行きに影響すると考えているアフィリエイトが多い。

提携 EC サイトの広告掲載状況としては、約 6 割のアフィリエイトが、提携しているものの広告を掲載していない EC サイトの比率が 40%以上にのぼる。

特別報酬については、収入の多いアフィリエイトの約 7 割が特別報酬を得ている。また、特別報酬が実現した経緯として、ASP、EC サイトからの提案によるものが多い中で、自ら EC サイトに提案して、特別報酬を実現させたという、積極的な動きを行うアフィリエイトの存在も浮かび上がった。

高収入のアフィリエイト(10 万円以上/月)の約 40%が、提携 EC サイトと情報交換を行っており、情報交換の内容としては、「特別報酬の交渉」「自分のサイトの集客状況」「タイアップ企画の交渉」など、幅広く情報交換がなされていることが明らかになった。

## ■ 調査目的

今回の調査の目的は、2004 年以降注目を集め、利用人口も急増中のアフィリエイト・プログラムの実態、および利用者の意識を中立的な立場で調査・公表することにより、今後のアフィリエイトマーケティング業界の健全な発展と理解を促進し、現状や課題を正しく把握してゆくとともに、将来のあるべき姿を模索し、

かつ提唱してゆくことにある。

また、2005年9月にNPO法人として誕生した協会が、今後、アフィリエイト導入企業(ECサイト)、個人・法人サイト運営者(アフィリエイト、アフィリエイトサイト)、および両者の仲介を行う企業(アフィリエイト・サービス・プロバイダ ASP:Affiliate Service Provider)などの関係者とともに、イベントやセミナー、業界としてのルール作りといった諸活動を行ってゆく際の基礎データとして活用してゆくことにある。

## ■ 調査概要

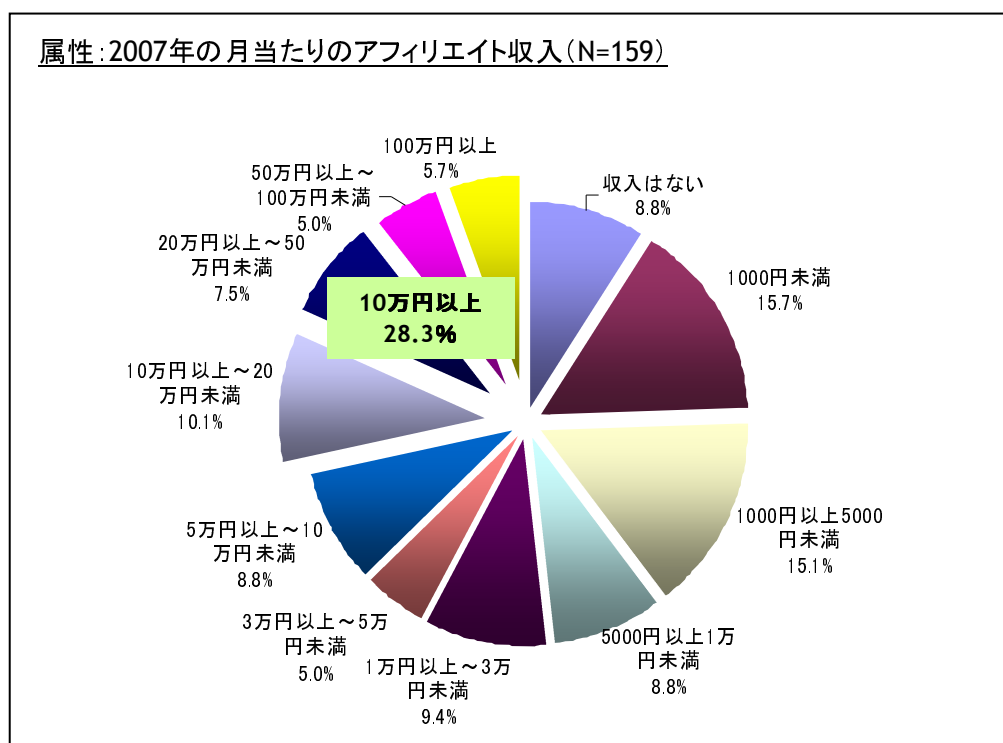
調査方法	インターネットリサーチ
調査対象	弊協会の個人会員(個人正会員、個人WEB会員)
有効回答数	159 サンプル
設問数	26 問
実施期間	2008年3月7日～4月4日

## ■ 調査結果ダイジェスト

### 1. 2007年における1月あたりのアフィリエイト収入 ～「月あたり10万円以上」が約3割～

本調査の回答者の月毎の収入額(2007年実績)は、「10万円以上」と回答する者が、約30%(28.3%)存在し、「100万円以上」という、事業者レベルの収入を得ている回答者が約6%(5.7%)という結果となった。

この結果より、本調査の回答者は、アフィリエイト中級者～上級者が比較的多く含まれていることが推察される。



## 2. 提携したいと思う EC サイト

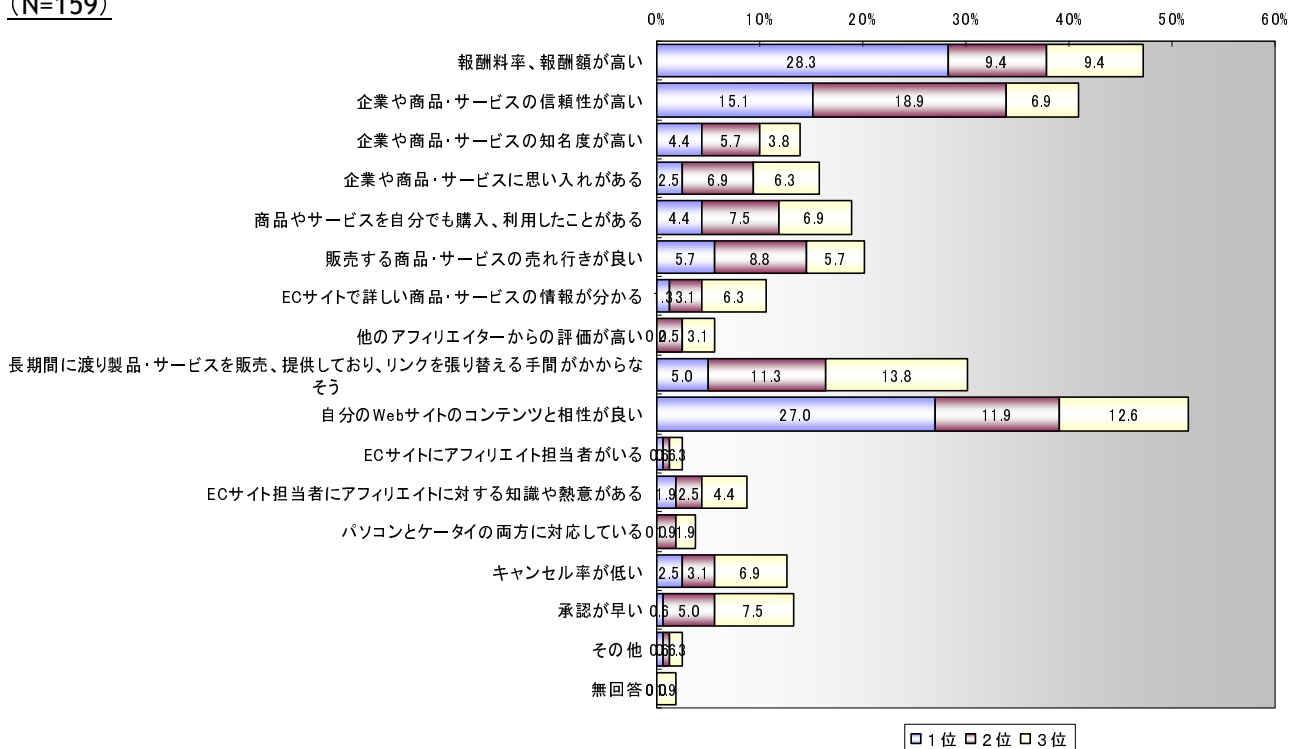
### ～「相性」「報酬額」「信頼性」の高い EC サイト～

アフィリエイターが提携したいと思う EC サイトは、「自分の Web サイトのコンテンツと相性が良い」商品・サービスを取り扱っている EC サイト、「報酬料率、報酬額が高い」EC サイト、「企業や商品・サービスの信頼性が高い」EC サイトとの提携を望む意見が多かった。

また、「長期間に渡り製品・サービスを販売、提供している」EC サイトを重要視する声も多く、リンク張替えの手間がかからないことを重視する傾向も見られた。

**Q2: あなたはどのようなECサイトと提携したいですか。重視している順番に3つを順位付けしてください。**

(N=159)



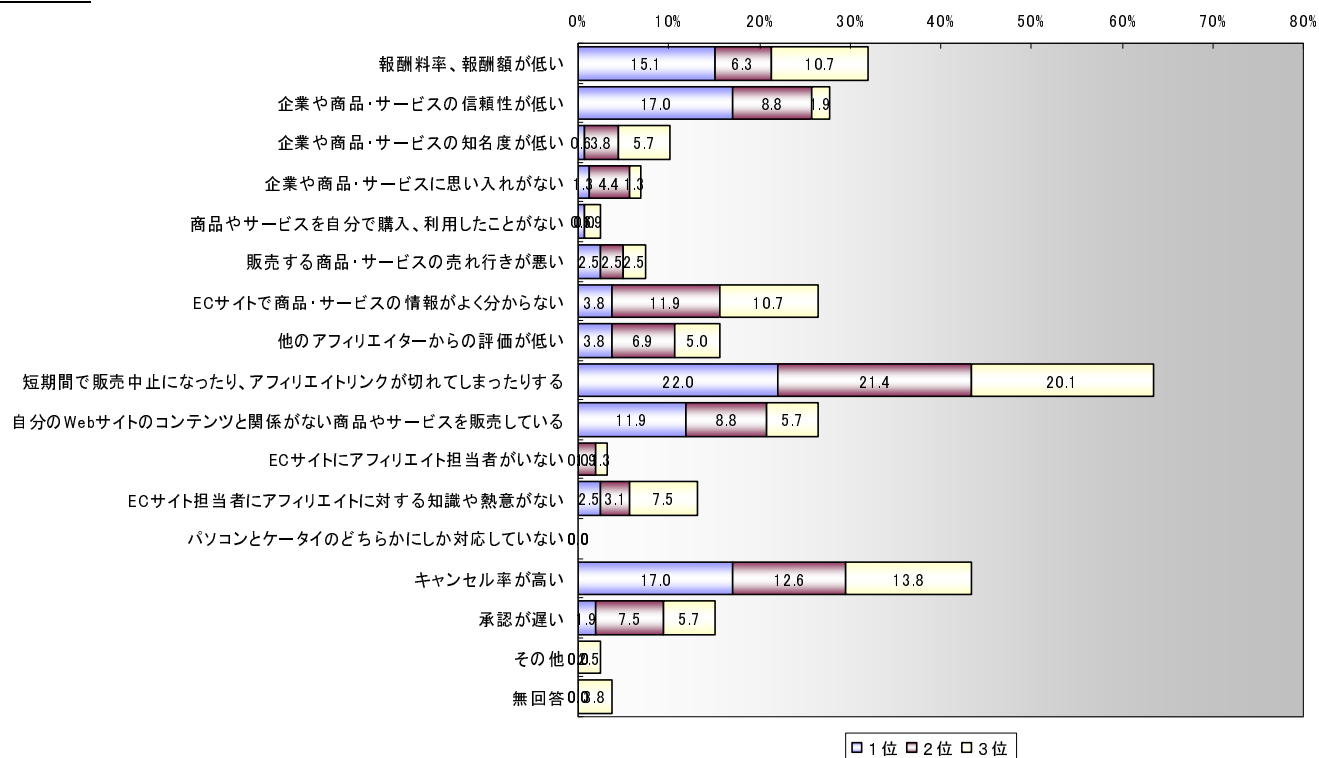
### 3. 提携したくないECサイト

～「短期間」「キャンセル率」「報酬額」を重視～

アフィリエイトが提携したくないと思うECサイトは、「短期間で販売中止になったり、アフィリエイトリンクが切れてしまったりする」ECサイト、「キャンセル率が高い」ECサイト、「報酬料率、報酬額が低い」ECサイトを挙げる意見が多かった。

また、「商品・サービスの情報が良く分からない」ECサイトを敬遠する意見もあり、アフィリエイトに対して、商品やサービスについての情報提供をしっかりと行われているかどうかを重視する傾向も見られる。

Q3:あなたが提携したくないECサイトはどんなサイトですか。悪い順番に3つを順位付けしてください。  
(N=159)



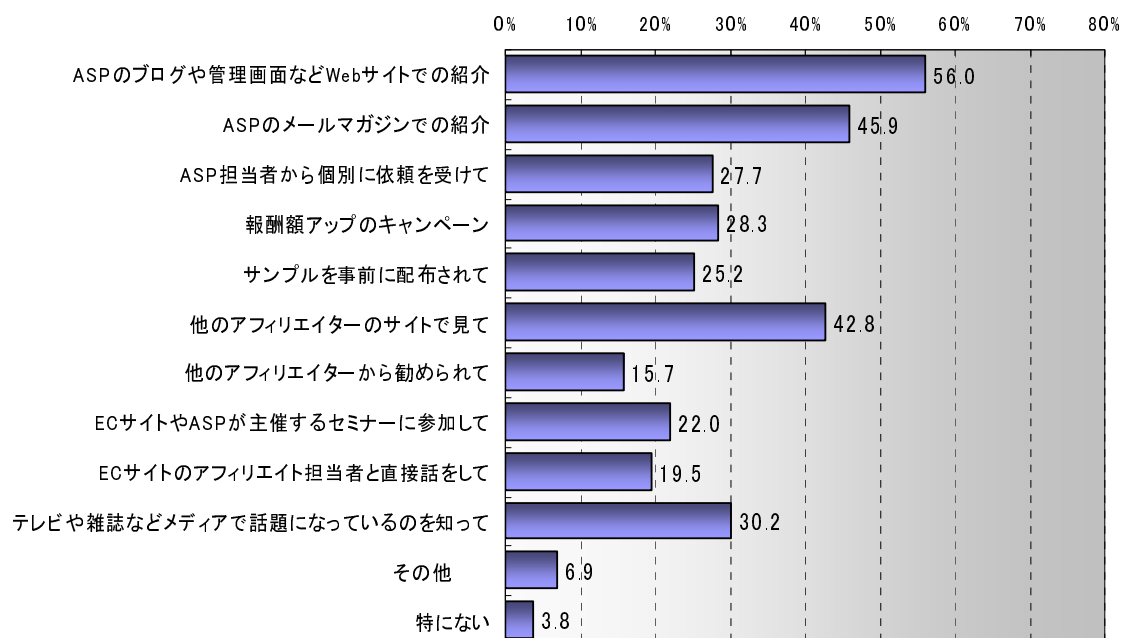
#### 4. EC サイトと提携するきっかけ

##### ～ASP のブログや管理画面など Web サイトでの紹介が 50%以上～

アフィリエイトが EC サイトと提携する際、そのきっかけとなるのが「ASP のブログや管理画面など Web サイトでの紹介」「ASP のメールマガジンでの紹介」など、ASP からの情報である場合が多い。

また、他のアフィリエイトのサイトを見て、アフィリエイトが実施されていることを知り、提携するアフィリエイトも多く見られた。

Q4:あなたが新しくECサイトと提携する場合、何をきっかけにECサイトと提携しますか。(N=159)

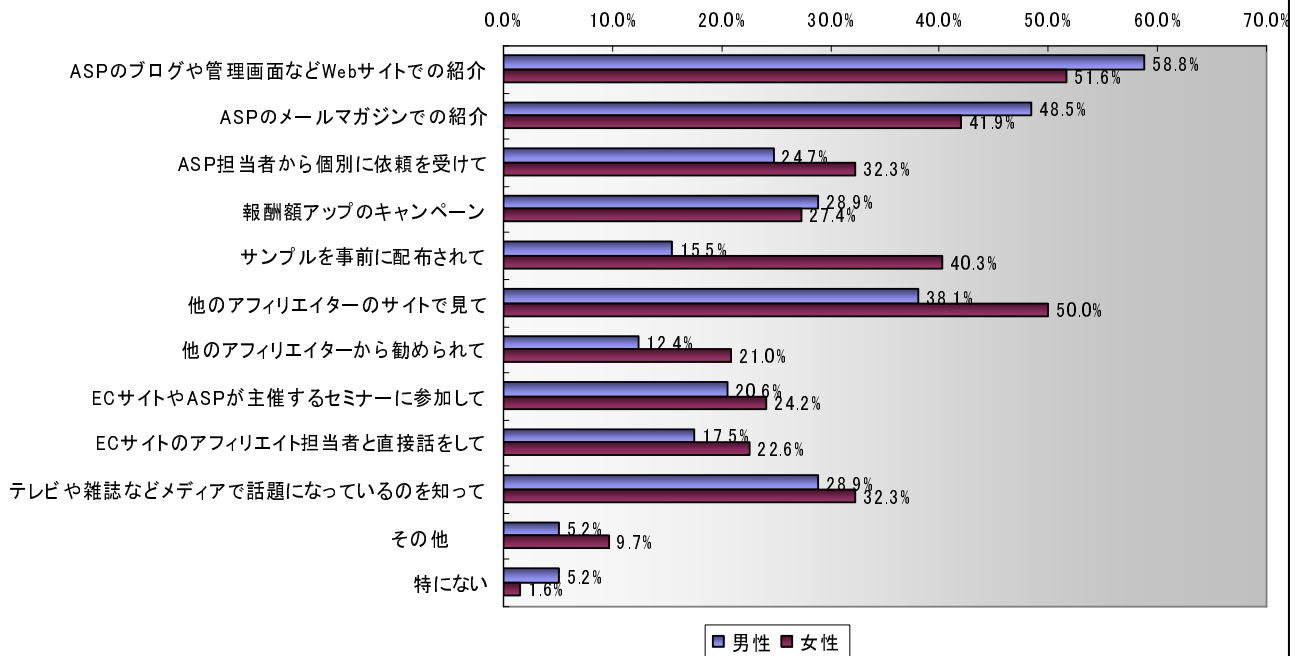


## 5. EC サイトと提携するきっかけ(クロス集計:性別) ～女性はサンプル品に弱い?～

EC サイトと提携するきっかけを性別で見ると、女性はサンプルを事前に配布されたことによってEC サイトと提携する割合が男性と比較して顕著に高い。

また、「他のアフィリエイトのサイトを見て」「他のアフィリエイトから勧められて」提携する割合も女性の方がやや高く、女性アフィリエイト同士のコミュニケーションが EC サイトとの提携のきっかけとなる傾向が見られる。

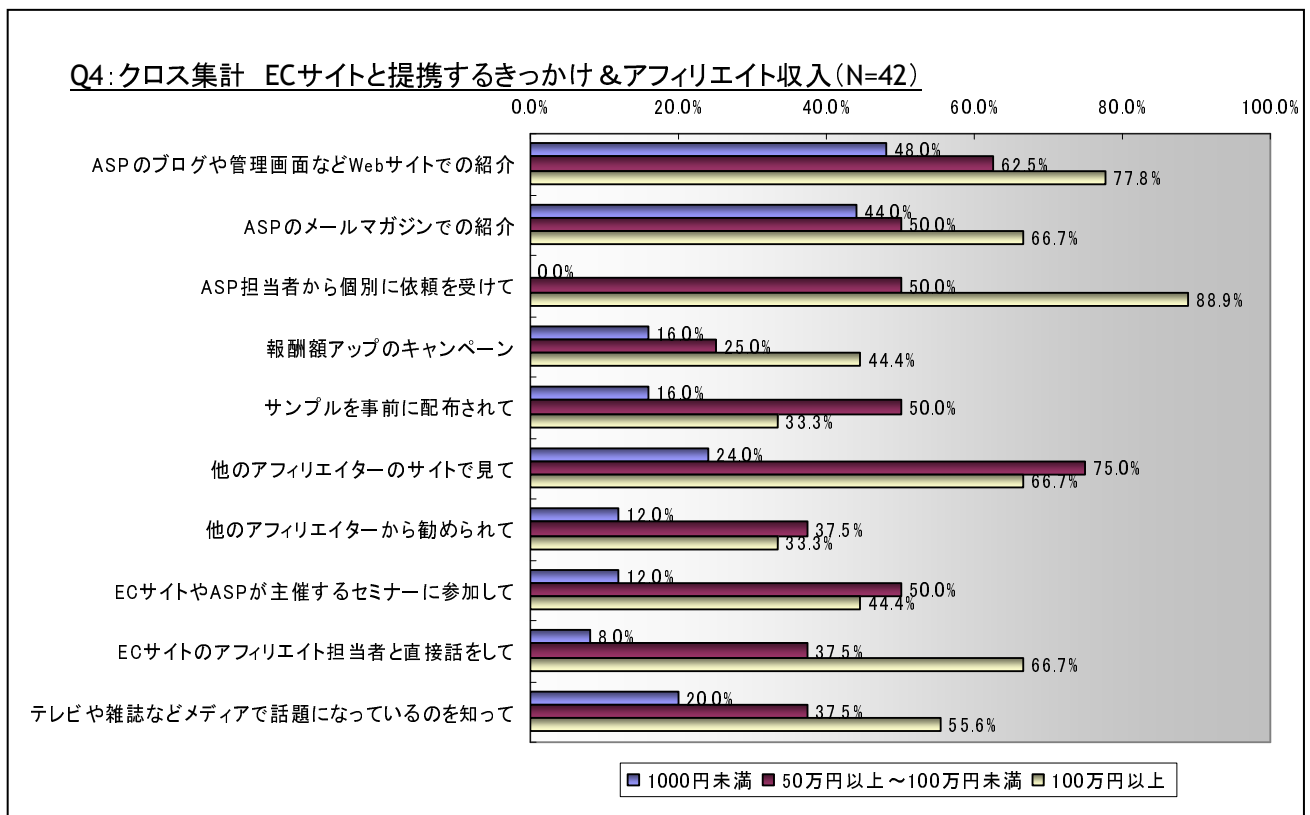
Q4:クロス集計 ECサイトと提携するきっかけ&性別(N=159)



## 6. EC サイトと提携するきっかけ(クロス集計:アフィリエイト収入) ～高収入アフィリエイトは、リアルな交流も～

EC サイトと提携するきっかけをアフィリエイト収入別で見ると、高収入を得ているアフィリエイト(10万円以上/月)は、全体的にあらゆることをきっかけに EC サイトと提携する割合が高い傾向が見られる。

特に、ASP 担当者、EC サイト担当者、セミナーなど、直接的な交流を通じて提携する割合が収入の少ないアフィリエイトと比較して高い傾向が見られる。

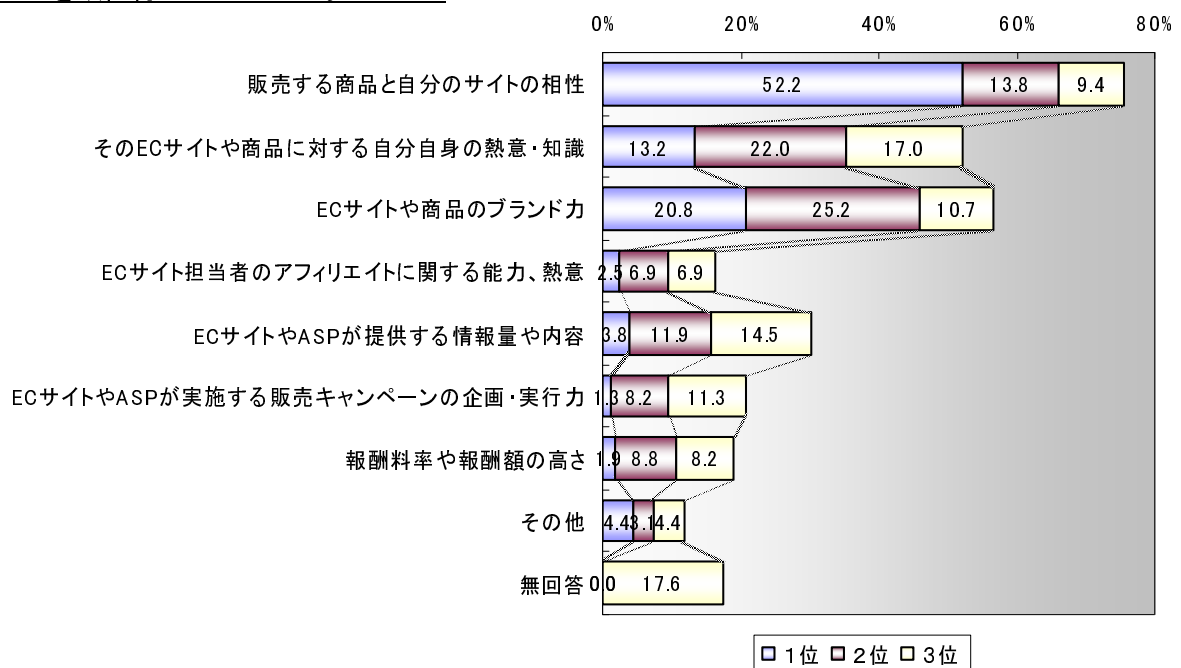


## 7. 売れ行きの良い EC サイトと悪い EC サイトの違い ～「相性の良さ」「ブランド力」「商品知識・熱意」が売れ行きに影響～

アフィリエイトが考える、売れ行きの良い EC サイトと悪い EC サイトの違いは「販売する商品と自分のサイトの相性」が圧倒的に多く、続いて「EC サイトや商品のブランド力」が多かった。

また、「その EC サイトや商品に対する自分自身の熱意・知識」を挙げる声も多く、思い入れのある EC サイト・商品であるかどうかとも売上に影響すると考えるアフィリエイトが多く見られた。

Q14: 売れ行きが良い EC サイトと悪い EC サイトの間で、違いは何だと思いますか。違いが大きいと感じる順に3つを順位付けしてください。(N=159)

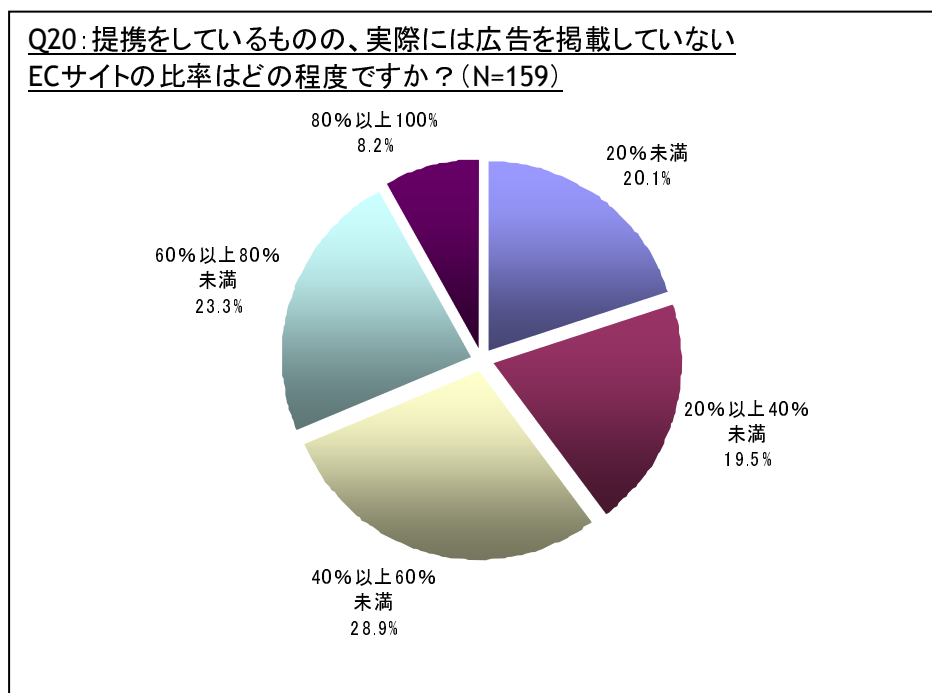




## 8. 提携 EC サイトの広告掲載状況

～約 6 割のアフィリエイターが、広告を掲載していない EC サイト 40%以上～

提携をしているものの、実際には広告を掲載していない EC サイトの比率は、「40%以上 60%未満」が 28.9%、「60%以上 80%未満」が 23.3%、「80%以上」が 8.2%となっており、約 6 割のアフィリエイターにおいて、提携している EC サイトのうち約半数以上の EC サイト広告が実際には掲載されていない状況が明らかになった。



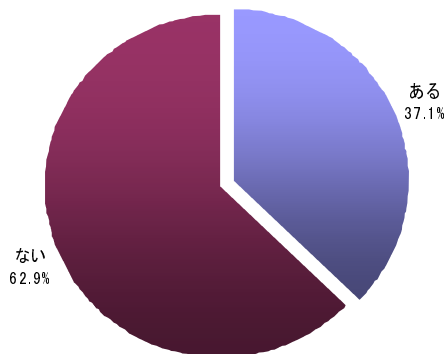
## 9. 特別報酬について

### ～高収入のアフィリエイターの7割が特別報酬を得ている～

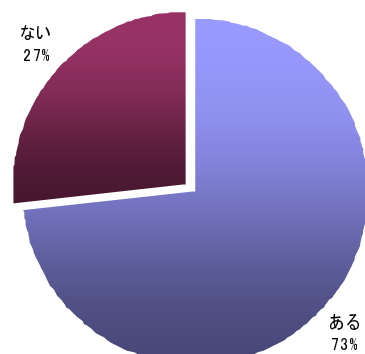
通常のアフィリエイト報酬とは異なる、高い成果をあげているアフィリエイターに提供されている特別報酬について、高収入のアフィリエイター(10万円以上/月)においては、7割以上が特別報酬を得ていることが明らかになった。

また、特別報酬が実現した経緯として、「提携ECサイトからの提案」「登録ASPからの提案」が大多数を占めている中で、「自ら提携ECサイトへ提案して実現した」という、積極的な動きを行うアフィリエイターの存在も浮かび上がった。

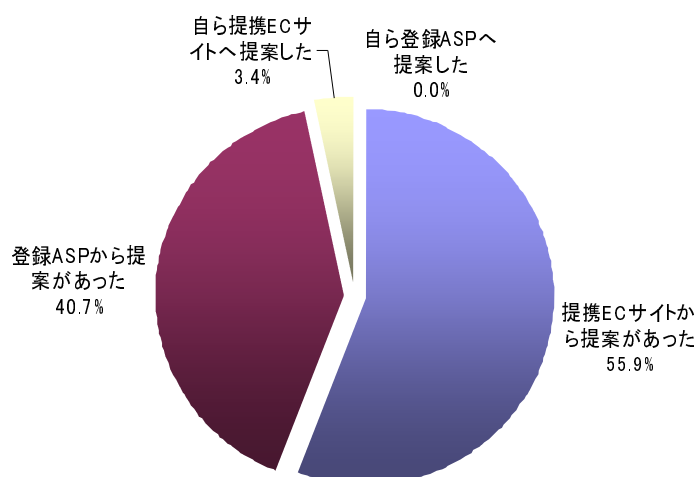
Q17: 特別報酬をもらっている  
提携ECサイトはありますか。(N=159)



Q17: クロス集計 特別報酬をもらっている提携ECサイト  
& 2007年の月当たりのアフィリエイト収入10万円以上(N=45)



Q18: 前問で「ある」と答えた方にお伺いします。どのようにして特別報酬が実現しましたか。(N=59)

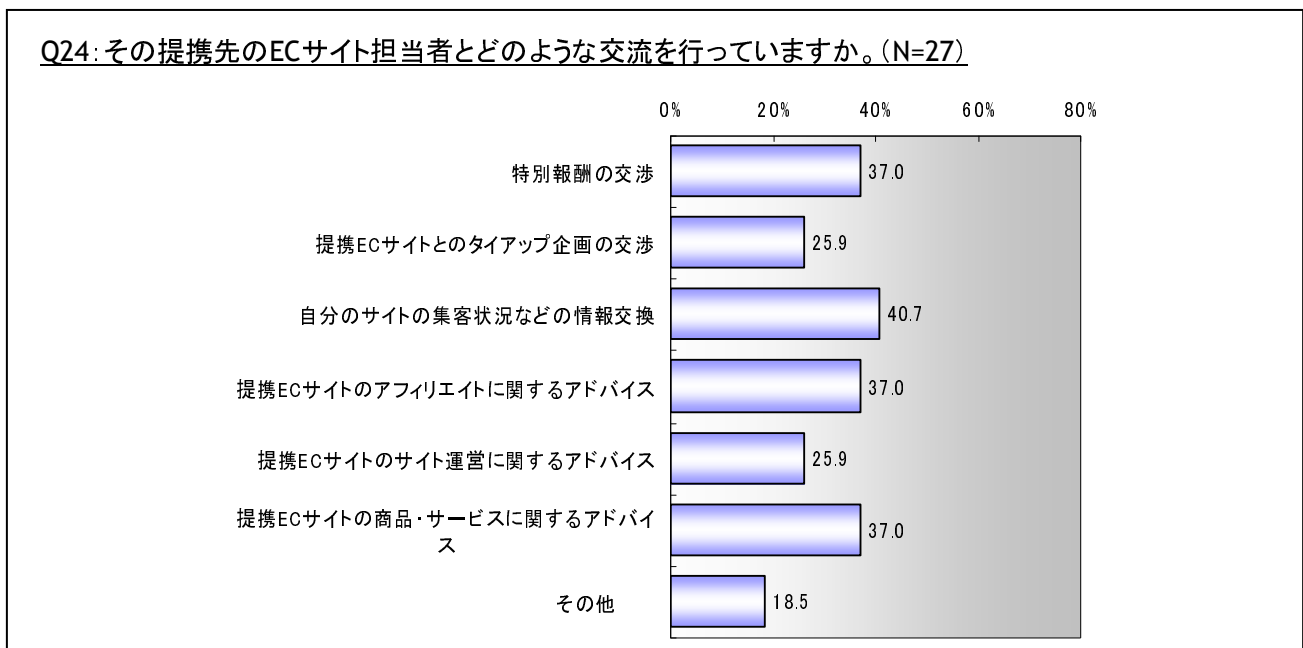
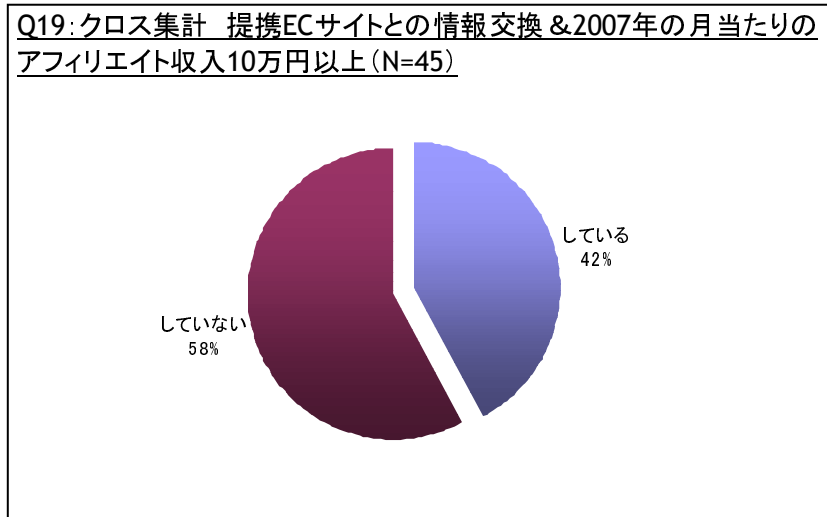
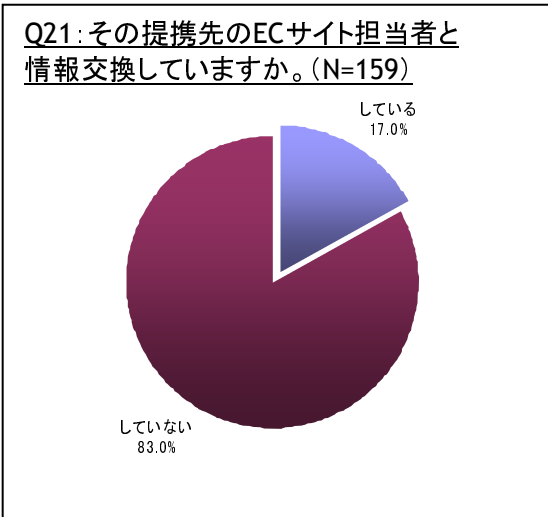


**10.提携 EC サイトとの交流について**  
**～主にメールで、幅広い情報交換～**

高収入のアフィリエイター(10万円以上/月)の約40%が提携ECサイトと情報交換を行っており、情報交換の内容としては、「特別報酬の交渉」「自分のサイトの集客状況」「タイアップ企画の交渉」をはじめ、「提携ECサイトのアフィリエイトに関するアドバイス」「提携ECサイトの商品・サービスに関するアドバイス」など、自分のサイトに関するものから提携ECサイトへのアドバイスなど、幅広く情報交換がなされていることが明らかになった。

本ダイジェストには掲載していないが、情報交換の頻度としては、メールを通じて月に1回以上が半数以上を占め、直接対面では2・3ヶ月に1回程度からそれ以下の頻度が大多数を占め、主にメールによって情報交換がなされている。

※あなたが提携しているECサイトの中で、ここ1年で受取った報酬額が最も多いECサイトについてお伺いします



**11.アフィリエイトをしていて困ったこと、不満なこと(自由回答)**  
**～EC サイトへの距離感。アフィリエイトのイメージの悪さ～**

突然アフィリエイトを終了したり、報酬額を変更したりする EC サイトがあったり、注文が却下された理由がアフィリエイトには分からないなど、EC サイトに対して距離感を感じているアフィリエイトが多い。

「楽に儲けられる」「一部のアフィリエイトによるスパムの行為」など、アフィリエイトに対するイメージが悪いという意見や誤解なども散見され、アフィリエイトをしていることを人に言えないアフィリエイトも多くいる。

Q26:アフィリエイトをしていて、困ったこと、不満などを自由にご記入下さい。(N=159)  
(特徴的なキーワードを抽出。7件以上ヒット)

- 突然の撤退・報酬ダウンは困る (12件)
- 注文却下の理由が知りたい (11件)
- リンク張替え作業が大変 (11件)
- 稼げない (9件)
- ECサイトとの距離 (8件)
- アフィリエイトのイメージが悪い (7件)
- 検索エンジンに依存 (7件)

## ■ 本調査の設問一覧

Q1	あなたは現在、いくつの EC サイトと提携していますか。
Q2	あなたはどのような EC サイトと提携したいですか。重視している順番に 3 つを順位付けしてください。
Q3	あなたが提携したくない EC サイトはどんなサイトですか。悪い順番に 3 つを順位付けしてください。
Q4	あなたが新しく EC サイトと提携する場合、何をきっかけに EC サイトと提携しますか。(いくつでも)
Q5	提携したい EC サイトと提携するために未登録の ASP に登録したことはありますか。
Q6	1ヶ月当たり 1,000 円以上の報酬が発生している EC サイトの数はどれくらいですか。
Q7	1ヶ月当たり 1,000 円以上の報酬が発生しているアフィリエイトサイトは、何の目的で作成したサイトですか。※複数のサイトをお持ちの方は、もっとも報酬の高いものについてお答えください。
Q8	あなたが、提携している EC サイトの分野はどれですか。(いくつでも)
Q9	売り上げが発生している EC サイトの分野はどれですか。(いくつでも)
Q10	複数の ASP で提携可能な EC サイトの場合、何を基準に ASP を選択していますか。重視している順番に 3 つを順位付けしてください。
Q11	売り上げを伸ばすために、何か対策をしていますか。
Q12	前問で「している」とお答えの方にお伺いします。売り上げを伸ばすためにどんなことをしていますか？(いくつでも)
Q13	前問で「情報収集」とお答えした方にお伺いします。売り上げを伸ばすために重視している情報源は何ですか。重視している順番に 3 つを順位付けしてください。
Q14	売れ行きが良い EC サイトと悪い EC サイトの間で、違いは何だと思えますか。違いが大きいと感じる順に 3 つを順位付けしてください。
Q15	提携 EC サイトからはどのような情報を期待していますか？期待している順に 3 つ順位を付けて下さい。
Q16	提携 EC サイトが主催するキャンペーンとしてどのようなキャンペーンが望ましいですか？最も嬉しいものを一つ選択してください。
Q17	特別報酬をもらっている提携 EC サイトはありますか。
Q18	前問で「ある」と答えた方にお伺いします。どのようにして特別報酬が実現しましたか。
Q19	提携 EC サイトから報酬以外の、モニター商品等の提供を受けたことはありますか。
Q20	提携をしているものの、実際には広告を掲載していない EC サイトの比率はどの程度ですか？
Q21	その提携先の EC サイト担当者や情報交換していますか。
Q22	その提携先の EC サイト担当者との「メール」での接触頻度はどれくらいですか。
Q23	その提携先の EC サイト担当者との「対面」での接触頻度はどれくらいですか。
Q24	その提携先の EC サイト担当者とのどのような交流を行っていますか。(いくつでも)
Q25	あなたが、2007 年に得た 1ヶ月あたりのアフィリエイト報酬額はどの程度ですか？
Q26	アフィリエイトをしていて、困ったこと、不満などを自由にご記入ください。

## ■ 今後の展開

アフィリエイトマーケティング業界の健全な発展と理解を促進し、現状や課題を正しく把握してゆく一助とするため、調査結果レポート(全 28 ページ)だけでなく、アンケートで収集した生データについても、弊協会の法人正会員に対して、無償にて公開することとする。

— 以 上 —

**【特定非営利活動法人 アフィリエイトマーケティング協会】**

所在地 : 東京都港区西麻布 4-3-11 泉西麻布ビル 2F 株式会社ベンチャーリパブリック内  
理事長 : 柴田 健一  
設立 : 2005 年 9 月 6 日 (NPO 法人としての登記日)  
URL : <http://affiliate-marketing.jp/>  
「協会 SNS」 : <http://affiliate-marketing.jp/sns/>

**調査協力【日経 BP 社・日経ネットマーケティング】**

所在地 : 東京都港区白金 1 丁目 17 番 3 号 NBF プラチナタワー  
編集長 : 渡辺 博則  
URL : <http://netmarketing.nikkeibp.co.jp/>

**調査システム協力【株式会社 マクロミル】**

本社所在地 : 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 11F  
社長 : 辻本 秀幸  
URL : <http://www.macromill.com/company/profile.html>  
「マクロミル」 : <http://www.macromill.com/>

---

本件に関するお問合せ

---

**特定非営利活動法人 アフィリエイトマーケティング協会**

広報担当 : 柴田、森本、野崎

E-Mail : [press@affiliate-marketing.jp](mailto:press@affiliate-marketing.jp)

問合せフォーム : <http://affiliate-marketing.jp/contactus/>